



私も見た、水のカーテン

天ヶ瀬ダムの46年ぶり放水

田中さん(宇治)も撮影成功

宇治川上流の天ヶ瀬ダム(宇治金井戸)でダム完成以来、46年ぶりという非常用ゲートからの放水をアマチュアカメラマンの田中良一さん(71)＝宇治妙

と呼ばれる上段の非常用ゲートからの放水があったのは昨年11月19日(土)の午後。

田中さんによると、たまたま天ヶ瀬の紅葉を撮ろうとダムに近い白虹橋まで来たところ

約半世紀ぶりというスケールの大きい、豪華な水のカーテンに、田中さんは「幸運でしたが、できれば事前に周知して、観光宇治の新たな見どころに加えて欲しいですね」と話している。

一さん(71)＝宇治妙楽62も撮影に成功。堤からの高さは70メートルを超えるダイナミックなウォーター・カーテンの瞬間を様々な角度から撮影することに成功していた。

統括管理事務所による「クレストゲート」からの放流はダム完成時に一度実施して以来、実施しておらず、今回は46年ぶりの放流。ゲート開閉の動作確認を行ったために実施したもので、時間にしてわずか30分間の出来事だった。

「今まで見たこともないダムの最上部からの放流」を目撃。居合わせた職員に尋ねると「ダム完成以来、初めてのテスト放流(240秒放流)」と聞き、慌ててダムの上まで駆け上がり、「撮れるだけ撮ろう」とひたすら

シャッターを切ったという。46年ぶりの貴重な放水シーンは田中さんと同僚、折り良く白虹橋付近にいた羽野力さん(69)＝同市伊勢田町大谷Ⅱが撮影に成功しており、少なくとも貴重なシーンは2人のカメラマンが捉えたかたち。

「クレストゲート」

か30分間の出来事だった。

慌ててダムの上まで駆け上がり、「撮れるだけ撮ろう」とひたすら